

平成29年度予算の主な施策

安心して子育て・教育ができる街の実現

子育て世帯の経済的負担の軽減

平成29年度予算額 808,680千円

1 事業概要
○子ども医療費助成、妊婦健康診査助成等の拡充により、子育て世帯の経済的負担を軽減し、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援

2 事業イメージ

● 特定不妊治療費助成の拡充

現行	拡充後
〔所得制限〕 ・年収約1,000万円未満の夫婦	・年収約1,000万円未満の夫婦
〔助成上限額〕 ・治療1回につき15万円 ※一部上限あり	・助成額を5万円上乗せ(15万円→20万円) ※2回目以降、授精から移植まで一連の治療のみ対象
	・年収約1,000万円以上の夫婦 ・現行の助成額の半額を上限に助成

● 妊婦健康診査助成の拡充

現行	拡充後
〔助成上限額〕 98,000円	120,000円
〔助成方法〕 補助券	受診券

政令市 1位

● 子ども医療費助成の拡充

現行	拡充後
〔所得制限〕 未就学児までなし ※就学児は年収約860万円の所得制限	中学3年生まで 撤廃

● 最高階層の保育料の引下げ(3歳未満児)

現行	拡充後
月額 74,000円	月額 66,000円

● 困窮するひとり親世帯に対する家賃負担支援
・住まいに困窮するひとり親世帯の住替えに対して、家賃補助を実施
補助内容：月15,000円・最大6年間

● 児童生徒への通学費援助の拡充

現行	拡充後
・小学校2km、中学校3kmの距離要件を満たす場合に、通学費1/2の助成	・市バス普通線の料金の1/2を超える額を追加支給

● 地下鉄「U-15定期券」の発売
・中学生以下の地下鉄通学定期券の通学要件を撤廃
(新たに学習塾などの用途においても使用可能となるよう対象を拡充)

3 事業の効果等
○子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる街を実現

市民が地域とつながり福祉と医療をはじめ安心して暮らせる街の実現

見守り体制の再構築

平成29年度予算額 715,233千円

1 事業概要
○基幹福祉避難所を要介護者支援センターとして機能強化
○高齢者施設等を障害者支援センターとして障害者の見守り拠点に転活用
○民生委員の活動支援を充実

2 事業イメージ

見守り体制の再構築

● 現状の見守り体制

- ・65歳以上の単身者および75歳以上の老老世帯が対象(自立者を含む)
- ・民生委員を中心とする見守り体制

● 見守り体制の再構築

● 見守り対象者

- ・自立者を外し、支援が必要な方を要介護者として重点化
- ・要介護者：要介護認定者(要支援1~2、要介護1~5)
- ・障害者(身体障害4級以上、療育手帳所持者等)

● 要介護者支援センター

- ・現行の基幹福祉避難所(全市12カ所)に新たに見守り支援員を配置し、要介護者支援センターとして機能強化
- ・障害者支援センター・あんしんすこやかセンターと連携情報共有
- ・要介護者を把握し、「地域見守り台帳」を整備(地域の関係づくり)
- ・高齢者・障害者の短期入所機能の整備

● 障害者支援センター(再編)

- ・障害者の見守り支援の拠点として、在宅障害者福祉センター・在宅福祉センターを転活用
- ・障害者の見守りに向けた台帳の整備
- ・障害者の通所(日中活動)の場、緊急時の短期入所等施設整備

民生委員の活動支援を充実

- ・民生委員活動費(実費弁償)の増額(+2万円) (例)一般委員：59,000円→79,000円

3 事業の効果等

- 要介護者を地域で見守り・支える体制を構築し、災害発生時の支援体制を強化
- 高齢者施設等の転活用により障害者の見守り体制を強化
- 民生委員の活動支援の充実

都心・三宮の再整備に向けた具体的施策

「えき+まち空間」の実現(イメージ) 新たなバスターミナル整備(イメージ) 北野における回遊性向上検討(北野の遊歩道イメージ) 波止場町1番地の回遊性向上(イメージ)

「人」中心の総合的な交通体系の構築(BRT(通勤バス運行)イメージ)

● 事業の効果等

- 美しい景観や神戸を感じられる空間の創出による来街者・移住者の増加
- 新たなバスターミナル整備や「人」中心の道路空間整備による、来街者の利便性や歩行者の回遊性向上
- 都心の魅力向上、新たなにぎわい拠点の整備による民間投資や若者の呼び込み
- 都心・ウォーターフロントエリアへの回遊性の向上と新たなにぎわい拠点の創出

大井としひろ市政事務所

お困りごとなど何事によらず
お気軽にご相談に
お越しくださいませ。

大井としひろ市政事務所

〒654-0012
神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号
吉川ビル1階
TEL 078-735-1103
FAX 078-743-6155

大井としひろの主な役職

(2017年3月現在)

- 神戸市会議員(4期目)
- 民進こうべ政策議員団 幹事長
- 市会運営委員会委員・理事
- 企業建設委員会委員
- 未来都市創造に関する特別委員会委員・理事
- 神戸市保健医療審議会委員
- 神戸市監査委員、阪神水道企業団監査委員、決算・予算特別委員会委員、総務財政委員会委員、都市消防委員会委員、福祉環境委員会委員等を経て
- 民進党兵庫連帯幹事代理(副幹事長)
- 民進党須磨支部代表
- 神戸市会日印友好議員連盟副会長
- ウイッセル神戸助産師議員の会事務局長
- 神戸市会防衛懇話会事務局長
- 兵庫民社協会 常任幹事
- 連合兵庫神戸政策フォーラム常任幹事
- 富士政治大学校「高志会」副会長
- 全日本海員組合政治参与
- 社団法人 海光園理事
- 法務省 保護司
- 社会福祉法人 兵庫盲導犬協会顧問
- 三菱重工神戸サッカー部部長
- 神戸中央ライオンズクラブ前会長
- 兵庫県投擲連盟理事長
- 多井畑南町自治会顧問
- 須磨公園にトンボを育てる会会長
- 神戸西日協会員
- 元神戸市精神障がい者家族連合会会長
- 所属議連：神戸市日中議員連盟、日独議員連盟、日韓議員連盟、日華議員連盟、神戸リガ友好議員連盟、神戸市観光議員連盟、ボーイスカウト議員連盟、真珠議員連盟

大井としひろの街頭活動

朝の街頭活動を行っています。
身近な問題でもなんでも結構です。
お気軽にお声掛けください。

午前6時30分～8時30分

- 月曜日/地下鉄名谷駅
- 水曜日/地下鉄妙法寺駅
- 金曜日/JR須磨駅

神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

何事によらずお気軽にご相談下さい。

神戸市会議員 大井としひろ

〈自宅〉
〒654-0132 神戸市須磨区多井畑南町22-15
Tel & Fax : 078-743-6155

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ http://kobe-001.com
- おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

おーいと呼んでください。いつでも、どこへでも、スグに駆けつけます!!

神戸市会 NEWS VOL.71

民進こうべ政策議員団

編集・発行：民進こうべ政策議員団
〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
TEL (078) 322-5844 FAX (078) 322-6161
ホームページ http://www.kobe-minshu.jp

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球!

須磨区のために真剣です。

民進こうべ政策議員団 幹事長
神戸市会議員(須磨区)

大井としひろ

須磨区の皆様いつもお世話になります。民進党神戸市会議員の大井としひろです。
今期は会派の幹事長を務め、会派の要として議会議運営に汗を流しているところです。
平成29年第1回定例会(2月17日～6月27日)が開会され、2月議会が始まりました。平成29年度当初予算並びに関連議案について、民進こうべ政策議員団を代表して、大井としひろ議員・岩田議員が久元市長以下執行部に対して代表質疑を行いました。

※最新の活動報告は「おーいブログ」でチェック!!

大井としひろ 検索

大井としひろのTwitter(ツイッター) KOBE_SUMA_001

去る2月24日の神戸市会本会議一般会計予算等についての代表質疑が行われ、会派を代表して久元市長以下執行部に対し、以下4点について質疑を行いました。

- 認知症の人にやさしいまちづくりについて
- 介護離職について
- 人口減少社会に対応したニュータウンの再生について
- 放課後子ども総合プランの充実・推進について (以下、質疑要旨です。)

認知症の人にやさしいまちづくりについて

Q 大井としひろ議員

市独自の認知症の対策の新たな試みや、認知症になっても住み慣れた地域で安心して過ごすことができる認知症の人にやさしいまちづくりをどのように推進していくのか、また認知症対策の理念や考えを伺いたい。

本市の認知症高齢者数は、平成27年度末時点で約4万4千人と介護認定者の半数を超えており、また、85歳以上の約40%が認知症に罹患するというデータもある。このことから、認知症は特別な病気ではなく、老化に伴い誰もがなりうるものだという認識が重要である。

このため、「認知症の人の意思が尊重され、地域の力を豊かにすることによって、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるまちづくりを目指す」ことを基本理念として掲げた条例の制定が適当ではないかと検討をはじめたところである。

条例の制定に向けては、この理念を市民の皆さんと共有するとともに、その理念を具体化するために個々の取り組みをより明確化することが重要であると考えている。このため、医療や介護関係者、支援団体、学識経験者などで構成する有識者会議を3月中に設置し、基本的な考え方や施策の方向性を検討していく。

議会の場においても、論議いただき、その意見を伺いながら、29年度中に条例案を提案し、審議させていただきたいと考えている。

A 久元市長

認知症対策について、これまで本市では認知症への理解を深めるための認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームや認知症疾患医療センターの体制整備などに取り組んできた。また、WHO神戸センターや神戸大学等と連携した認知症の早期発見・早期介入プログラムの研究、認知症高齢者が起こした事故に対する救済制度の検討など、新たな認知症対策の取り組みを推進している。

それに加え、認知症に関する条例の制定についても検討を開始した。

